

作業療法教育、自己効力感、授業デザイン

講師 吉村 友希
Yuki Yoshimura

現在の研究テーマと内容

精神障害領域を中心とした医療専門職教育において、学生が臨床現場で必要なスキルや態度を修得できるよう、オーセンティック・ラーニングに基づいた授業設計を実践・検証しています。特に、学生が「やったらできる」という自己効力感を育み、臨床推論力や治療的態度を身につけられる教育プログラムの開発に取り組んでいます。

これまでの研究成果と今後の展開

これまでに、臨床実習に向けた授業デザインの効果検証、学生の自己効力感を測定する尺度の開発、自由記述を活用した授業改善の有効性などを明らかにしてきました。今後はこれらの知見を医療分野にとどまらず、成人学習や生涯教育の場にも応用し、教材の全国展開や教育実践の体系化を通じて、教育の社会的意義を広げていきたいと考えています。

※授業改善のサイクル

私の教育実践では、授業を一方的に行うのではなく、学生からの自由記述アンケートを丁寧に分析し、改善策を考案したうえで再び授業に反映しています。右図は、そのサイクルを示したものです。

吉村友希, 戸田真志, 久保田真一郎, 鈴木克明「授業アンケートの自由記述に基づく改善は臨床推論学習に効果があるのか—精神障害領域作業療法における授業を対象として—」教育システム情報学会誌, 42(2), pp.273-278, 2025

<https://doi.org/10.14926/jsise.42.273>



図 授業改善のサイクル

大学院を目指すみなさんへメッセージ

大学院は、自分の問いを深め、研究を通じて教育や社会に還元できる力を育てる場です。失敗や迷いも大切な学びの一部として受けとめ、挑戦を楽しむ気持ちを持って進んでほしいと思います。私自身、学生とともに考え、ともに成長することを大切にしています。ぜひ一緒に、新しい教育のかたちをつくっていきましょう。